

調査結果情報

NOSAIひょうご豊岡事務所
たじま農業協同組合
豊岡農業改良普及センター

◆ 概況

気象庁の発表によると、今年の近畿地方の梅雨入りは6月21日ごろで平年より15日ほど遅く、梅雨明けは7月21日ごろと、平年より2日遅い梅雨明けとなりました。
今年の平均気温は、10年間平均気温と比較し、6月中旬から7月にかけて平年を上回り、降水量は、特に5月下旬と6月下旬で平年を大きく上回る結果となりました。

7月中旬の時点では、病気の発生状況は例年より少ない傾向にあります。害虫の発生状況については、特にウンカ類が多く、一部の圃場で確認されましたが、発生程度はわずかです。斑点米カメムシ類は、一部の圃場で確認されましたが、今後出穂期にかけ大量発生する可能性があります。**特に不稔米を発生させるイネカメムシの被害にご注意ください。**



図1 イネカメムシの成

◆ 調査結果の概要

【7月19日調査】

調査地域	病気の発生状況（25株調査）	害虫の発生状況（払い落とし及びすくい取り）
豊 岡 （下鶴井、木内、大谷、気比）	いもち病は、一部の圃場で確認されましたが、発生量は少ないです。紋枯病は、一部の圃場で病斑が第2葉鞘まで達しているものを確認しました。	一部の圃場で、ウンカ類及び斑点米カメムシ類を確認しましたが、発生程度はわずかです。
城 崎 （来日）	調査対象の病気は、発生していません。	調査対象の害虫は、確認できませんでした。
竹 野 （二連原、三原、竹野）	調査対象の病気は、発生していません。	全ての圃場で、ウンカ類、一部の圃場で、斑点米カメムシ類を確認しましたが、いずれも発生程度はわずかです。
日 高 （栗山、栃本、山田、竹貫、府市場）	調査対象の病気は、発生していません。	全ての圃場で、ウンカ類、一部の圃場で、斑点米カメムシ類を確認しましたが、いずれも発生程度はわずかです。
出 石 （袴狭、三木、榎見）	調査対象の病気は、発生していません。	全ての圃場で、ウンカ類、一部の圃場で、斑点米カメムシ類を確認しましたが、いずれも発生程度はわずかです。
但 東 （畑、相田、久畑、三原、坂野）	調査対象の病気は、発生していません。	一部の圃場で、斑点米カメムシ類を確認しましたが、発生程度はわずかです。

◆ 病害虫発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

いもち病は、一部の圃場で確認されました。今後の天候によっては、発生と拡大の可能性もあります。特に常発地では注意してほ場を観察し、穂首いもちに感染しないよう、必要に応じて防除を実施してください。

☆ 紋枯病

紋枯病は、一部の圃場で病斑が第2葉鞘まで達しているものが確認されました。薬剤防除が間に合う幼穂形成期ないし穂ばらみ期までに防除をおこない、上位3葉を守りましょう。また、発生田では菌核の形で冬を越し、来年以降の発生源となります。そのため、多発圃場では、収穫直後に耕起して稲わらの早期分解に努めましょう。

☆ ウンカ類

24ヶ所を調査し、16ヶ所でウンカ類を確認しました。すべてのほ場で発生量はわずかでしたが、今後の発生に注意して下さい。

☆ カメムシ類

24ヶ所を調査し、12ヶ所で斑点米カメムシ類を確認しました。すべての圃場で発生量はわずかでしたが、今後出穂期にかけ大量発生する可能性があります。**斑点米カメムシ類の一種であるイネカメムシは、特に出穂直後の稲穂を好み、出穂期に稲を吸汁されると不稔米が発生し減収につながります**ので、別紙チラシをご参照のうえ、出穂初めの薬剤防除で不稔被害の抑制に努めましょう。

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

今年の気象情報

